慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	政府の財政方針に就て
Sub Title	
Author	堀切, 善兵衛
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.4, No.6 (1910. 12) ,p.639(35)- 656(52)
JaLC DOI	10.14991/001.19101200-0035
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19101200-0035

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

レフエレンダムの得失を論じて英國憲政の前途を卜す　六三八

關稅改革は統一黨の協定せる政綱の主位に置く可きものなりと明言せり、關稅改革派と自由貿易派との間に介在して諸沮逡巡せるバルフオーアは遂に統一黨の勢力を復興せしむることゝ能はざる可きも、而もレフエレンダムの採否は益々實際政治家の注意を惹く可く、兩黨何れの勝利に歸するも、之が實施は單に時日の問題に過ぎざる可し。立憲君主制は實に一大革新の機運に向へるなり。（十二月八日稿）

政府の財政方針に就て

堀切善兵衛

政府の財政方針に就て　六三九

一

桂内閣の成立して以來茲に三歳此間を通じて其最も苦心せる所は財政の始末たりしや言を待たず而して現政府の財政策は或程度まで成功したり然も其成功と目せられたるは暫時にして追々と破綻を暴露するに至り昨今の形勢を以てすれば到底今後何等かの局面開展を期するに非らざれば以て如何ともする能はざるの有樣に在るものゝ如し、斯の如き形勢を順致したるは何故ぞや將た四十一年公債の下落株式市場の沈衰の後を受けて一時殆んど混沌たる經濟界に處し、兎に角に政府の處置其效を奏し七十七八圓臺に下落したる公債をして俄然額面價格を抜くに至らしめ爲めに一部の實業家をして政府の財政策に隨喜渴仰の涙を垂れしめたるに昨今に至りては是等の實業家と雖も政府の方針に對し大に疑惧の感を抱く者あるに至り或は其財政策に反對し攻擊を加ふるもの有るに至りたる

は何故ぞや是れ吾人の少しく研究を要する所なる可しと信ず。

現内閣は其成立の當初より二個の方針を設定公告し以て極力其遂行に務めんと約束したり、二個の方針とは卽ち、

一、一般の歳計に於て歳出入の均衡を維持し公債を財源とせざること。

二、毎年少なくとも五千萬圓以上の公債を償還するの計畫を立て公債の信用を維持し漸次價格の恢復を謀り以て公債所有者の利益を保護し間接には一般經濟界に良好なる影響を與へしむること。

是れにして所謂非募債主義と公債政策とは現政府の生命として此時以來世間に知悉せらるゝに至りしものとす、然るに此非募債と稱し但しは公債の整理と稱するもの要するに消極的事業にして積極的事業には非らず英國ならば自由黨内閣の將に採る可き所。合衆國ならばデモクラット黨の政綱たり得可き所にして保守黨もしくはレパブリカン黨の採る可き種類のものに非らざるなり、果して然らば我桂内閣は消極的政策を喜ぶの人々に依りて組織せらるゝや將た積極的政策を好むの人々なりやと云ふに言ふまでもなく積極派に屬するものにして桂首相

を初めとし小村後藤の諸氏は何れも功名心盛に常に何事をか遺つて拔け世間の人氣を博せんと試むるの人々なるは明白なり、然らば此等の人々に依りて組織せられたる内閣が非募債主義と公債整理とを以て其政綱の隨一となしたる如きは最初より不似合の事業にして到底永く其主義に忠實なる能はざる可きは見易きの道理なりと云はざるを得ず、果せる哉現内閣は各種の難事業に其手を染むるに至れり曰く公債の低利借換、曰く朝鮮の合併、曰く鐵道の廣軌改築等卽ち之れにして公債借換は主として桂首相の力を注ぎたる所。朝鮮の合併は小村外相の主として其衝に當りたる所。廣軌改築は後藤遞相の畫策せる所にして何れも之れが爲めに我國の財政上に多大の負擔を蒙らしめ或は我經濟界に高頂の波瀾を湧起せしむるに至りしてそ是非もなき次第なりと云ふ可し、以上の外尙ほ現内閣の關與せる事業中には稅制整理の一部分あり條約改正事業等も之れ有りたるは世人の熟知するが如くにして現政府の成立以來極めて多忙なる歳月を閲したるや知る可きのみ。斯の如く多技多能なる内閣が其財政政策に於て消極主義を標榜して果して其終りを全ふするを得可しとは余輩遂に之を信ずること能はざるなり。

次に注意す可きの一事は現政府は財政的關係に於て大なる强味を有するの點是れあると同時に又甚だしき弱點を有したりしこと之なり、其强味とは何ぞや桂首相が自から藏相を兼攝したりしこと之れなり、軍人派の首領たる桂首相自からが大藏大臣を兼ねて早くも其財政々策に於て消極主義を世間に吹聽したりしかば人々思へらく今回こそ政府は軍人派の我儘を抑ふるを得可し彼の陸海當路者が無謀の計畫を立て以て大藏省より多大の不生產的資金を强取し爲めに我國の財政をして多々益々困難の地位に陷るゝの弊を蒙る可しとの考を懷くもの少なからざりしの事實は吾人の觀過す可からざる所なりとす、殊に此感念は外國人間に深かりしもの、如く首相が藏相を兼攝し消極的財政策を定めたりと聞き、彼等は頓に安心する所ありしは疑を容れざる事實なりとす、我輩は現內閣の成立以來公債價格の引上げの爲めに盡したる各種の人爲手段を知る。例へば國債の利子には一切所得稅を免除することゝなしたるが如き或は政府に納む可き保證金其他の擔保に供する公債は總て額面を以て算定することゝ爲したるが如き或は政府筋の買入れを奬勵したるが如き是等の手段が何れも相當に公債價格を騰貴せしむるの原因たりしは之を認めざる能はずと雖も然も要するに是等は主として內地に於て其效果を有したるに過ぎず勿論是等の人爲手段が內地に於て其效顯著にして爲めに七十圓臺に止まりし公債價格を殆んど額面に近く引き上ぐるに至りたる其影響は直ちに海外市場にも波及するに至りしを疑はず、と雖も海外市場に於て內地と獨立に既に早く公債價格騰貴の傾向を有したるは爭ふ可きに非らず而して其原因たる余輩は軍人派の統領が日本財政の樞機を握り然も此軍人の統領が自から天下に標榜して非募債主義消極的財政策を打立てたりしてそ外國人をして我國の財政の前途に關し多大の安堵を爲さしめたるものと斷言するを憚らざるなり。

內外人の此期待は最初の問決して空望には非らざりき。陸海軍は果して無謀の豫算を提出して以て大藏省を壓迫することを爲さゞりき。殊に陸軍側が海軍と競爭して過大の軍備擴張を畫し依つて以て我財政々策上に百年の大裘を殘すの無謀を敢てせざりしは畢竟陸軍の統領が財政當路者と化するに至りたるが爲

め敢て同志打を開始して其首領を苦しむるが如きこと無からんと勉めたるが爲めなりと云ふを得可し。我輩が現内閣は財政上に非常の強味を有せりと稱したるは以上の理由に基くものにして、こは我國民が確かに今日の當路者に感謝せざるを得ざる所なる可し然らば一方に其弱點は何處に存するやと云ふに現内閣の長所卽ち其短所たる所以なりと云ふを得可し換言すれば財政經濟の事に掛けては全くの素人たる陸軍々人が大藏大臣となり財界の首腦たるの形を現はすに至りしかば世人は如何にしても充分の信用を其財政々策上に置く能はざるの點卽ち之なり。大藏官僚中には相當の才學を具備せるの士無きにあらず現藏相の畫策は一に此等僚員の立案に係る所なるは一見明白なる次第なれども如何せん未だ世間の經驗に乏しく社會の信用を博するに十分ならず其立案畫策は動もすれば急激突飛に走るの嫌ひ無きにあらず五分利公債を一躍四分利に借替へんと試みて爲めに非常の困難に陷りたるが如き明白なる其證據にして早計に過ぎ猪勇を喜ぶの譏を免る可きにあらず。日露戰爭後公債は激增し國民の負擔は殆んど最上點に達し然も一方に國民經濟上の發達進歩を計らんが爲めには餘程の識見技倆ある人物を推して以て財政の樞機に參せしむ可き必要は何人も之を認むる所なるに拘らず元と一介の武辯に過ぎざる其人が此重任に當り然も兼職の儘無造作に萬事を處決し去らんとするは決して永く國民の信用を博する所以にあらざるなり借問す現今我財政策上の首腦は首相其人か將た次官乎但しは銀行家か余輩は是れを知るに苦まずむば非ざるなり。

三

現内閣が其成立の當初より公債政策に主力を注ぎ稅制の整理國民負擔の輕減等二方より見て更らに急務と思はるゝ問題も寧ろ之を後廻しとして只管公債價額の引上げに盡瘁努力したるの結果大に見る可きもの有りしは既述せる所の如し。最も公債價額が斯く騰貴するに至りしは單に獨り之を現内閣の功に歸するの不條理なるは云ふまでもなし、卽ち米國大恐慌の後を受けて世界の經濟界が非常の打擊を蒙り一般的不景氣に沈淪しつゝありしもの漸次回復するに至りしかば我國の經濟界も此世界の大勢に誘はれて景氣漸く回復せんとする徵あり依つて以て漸次に有價證券の價格を騰貴せしむるに至りし次第にして現内閣が最初

財政策上に大成功を奏したりと見えたりしものも其實は半ば自然の力に依るものに外ならざるを知らざる可からず、然るに元來經濟上に付きては何等の識見學識も無く只其陸軍次官時代に多少理財のことに關し經驗を有したりしが爲め全くの素人にも非らざる首相は早くも得意を催して公債價格の回復は一に自家の力に依ると感知するもの有りしと同時に卑劣なる金融業者は偏へに其功を稱揚し其政策を謳歌するの外餘念なかりしかば政府當局者の自負心を愈々ます〳〵増長せしめて遂に政府は今春三月關稅改正問題の一先づ落著するや直ちに五分利付公債の低利借換を思ひ立ち美事日本國中の公債を一枚殘さず四分利に借換へ呉れんとの一大野心を起し遂に其事業に著手するに至りしこそ大膽至極の處置なりと云ふ可し、政府は此事業に著手するに當り決して突然之を發表したるに非らず戰場に於て敵と一戰を試みんとするに際し先づ偵察を放つて充分に敵狀を知悉するは之れ百戰百捷の途なりと信ずる首相は先づ我國の重なる實業家連を集めて其計畫に就きて語る所ありき、首相の計畫を聞きたる所謂東西の大銀行家等は唯々として其命を奉せざる能はざりしなり何となれば現内閣の成立以來公債の價額を引上げる爲に盡力したる所少なからず爲めに、從來多大の公債を所有し居りて其價額下落の爲め非常の困難に陷りつゝありし銀行家等は現政府の爲めに全く窮地より救ひ出されたるの觀あるを以て政府に感謝する所極めて厚く、首相の命令と有らば事の善惡可不可は其問ふ所にあらず唯之れ命是れ從はざる可からざるの有樣に立ちたりしより政府の四分利借換計畫に對しては心中感服せざる事少なからざりしに拘らず敢て一人の反對を唱ふるものなかりしのみか下受銀行の手數料二分說の出でたるをも之を排して全然政府の計畫に盲從謳歌したりし次第なり、政府の作戰計畫は既に定れり進んで敵狀を偵察したるに甚だ與し易きもの有りと見て取りたる當局者は愈々其計畫の實行に著手したり、取り敢えず今年中に据置期限の經過したる五分利付公債五億圓に對し全部借換償還を行はんと欲し前後數回に別つて四分利公債を發行し始めたり、曰く政府は今明年中に内外の五分利付公債を悉く低利に借替ふ可し今後我國の金利は必ず四分に低落す可し、高利公債の所有者は速に來つて四分利公債に乘替へよ、公債の所有者に非らざるも現金を以て新たに四分利公債を求めんとする者は來れ。强て從

來の高利公債を所持せんと欲する者は近き將來に於て必ず償還し盡さる可ければ永久確實なる資金の放下を希はん者は速かに來つて政府の計畫に隨從せよと、然るに第一回の成績は兎に角相當の結果を收むるを得たりしと雖も第二回に至りては其成績甚だ香しからざるものあり、政府が如何に大聲疾呼したればとて自然の經濟的關係に依りて一定せる一國の金利は俄かに低落す可きに非らず獨逸の如き其經濟上の發達に於て非常の進歩を遂げたる國と雖も今日四分利附公債を發行せざる可からずして曾ては之を三分五厘に引下げたるに拘らず近來又々四分に逆進せる實例さへ存ずるに我國の富力は到底獨逸と同一日の談に非らず全國各地に於ては一割以上二割に近き高利の資金さへ融通せらるゝ我國に於て俄然五分利を四分利に低下せしめんと欲するの極めて難事なるは世人の敢て信ずる所にして寧ろ現金償還を受けて之を銀行の庫中に死藏せしむるの止むを得ざるに拘らず五分利公債所有者は四分利に乘替ふるを喜ばざるもの多かりしは決して無理ならぬ事なりしなり、斯くて第二回借替實行の結果政府は到底豫定の借換を繼續遂行するの不可能事なるを自覺したりき、然らば斷然借換を中止す可き乎政府の威信地に墜つるを如何せん。進んで借換を繼續せん乎資金の空乏を如何せん。元來政府にして一定の資金を所有して民間の公債所有者が借換を喜ばずして現金償還を希望したりとせんか政府は何時にても之れに應ずるの準備有りてこそ借換事業は其效を收むるを得る次第なれども政府が此種の準備を有せず加ふるに始めより識者の見て無理なりと思はるゝ借換に著手したる事なれば此困難に遭遇するに至る可きは敢て想像し難かりしにあらず卽ち政府は如何にもして此難關を切り拔けんものと苦心慘憺したるの結果窮餘の窮策として不利益を忍んで外債借換を實行すると同時に餘分に外債を募集して以て內債借換償還の資を調達し僅かに第三回の償還借換を果すを得たりしなり。

五

されど此時以來政府の低利借換事業が遂に失敗に外ならざりしことは何人も之を認むるに躊躇せざるに至れり況んや政府の借換を了せんと欲する五分利公債は今年度に於て償還期限の到達せるものゝみに限らず來年度に於ても二億七千萬圓の臨時事件費公債及び煙草專賣國庫債券其他約六千萬圓の償還を了せざ

る可からざるもの有れば幸にして今年度には外債の應援を得て兎も角も御茶を濁すを得たれども來年度に於ては果して成功の望ありや否や況して一般經濟界は年來の不景氣を脱して漸く一陽來復せんとするの徴候あり各種の事業にして新たに計畫せらるゝもの所々に少なからず同時に既設の銀行會社にして或は增資をなし或は事業擴張の結果社債の募集を企つるもの逐々に現はれ來り從來緩漫に緩漫を極めたる金融界も前途に一導の光明を發見するを得るに至りたる今日以後は四分利公債に甘せんとする資本家は多々ます〳〵少なかる可き道理なれば來年度に於て縱令政府が本年佛國に於て募集せる外債の殘金豫定の公債償還資金其他を合計し兼て豫金部皇室財産其他所謂政府筋の所持株を擧げ來りて以て公債市場に殺到すと雖も到底來年度に於て據置期限經過の五分利公債を全部四分利に借換へんとする事の不可能なるは識者を待つて之を知る可きにあらず然らば政府は斷然來年度に於ける借換を中止せざる可からざる乎。

世上には低利借換事業の無理に始まりて失敗に了らんとするを見て潔く政府が今後の中止を宣言するに加かずとの説を立たるもの少なきにあらざりしと雖も斯くては四分利公債の價額を下落せしむること甚しかる可くさらぬだに世間には四分利公債が今日の時價を維持し得るは全く政府の人爲的價格釣上策の結果に外ならざれば將來必ず八十圓臺に下落す可しと稱する者も少なからざる次第なるに此際政府が自から借換事業の中止を公言するが如きこと有らんか公債の下落は必然の勢にして爲めに公債所有者に及す損害は多大なる可きを恐るゝが爲め政府の立場としては到底其中止を宣言し得可きにあらず、さればとて今年の如く無理をも犯して償還を繼續せん乎徒らに金融業者を苦境に陷らしめ兼て内外債交換の如き拙策に出づるの外途なきは明白なれば政府は此點に就き少なからず苦心せしものゝ如く其結果は十月二十三日東京銀行集會所に於ける全國交換所聯合懇親會の席上に於ける桂大藏大臣の演説となりて現はるゝに至りしものとす而して氏の演説は長からざるにあらざりしも其眼目とする所は一度借換事業に從事したる以上は常に之が遂行に努め以て政策をして一貫する所有らしむ可きは當然のことなるが世上或は誤解を懷くものなきに非らざるが故に特に此機會に於て之を明言す而して其實行の時機竝びに方法に就ては經濟界の實

況に應じ最も適當と認むる所に依る可きものにして此等の點に就きては萬遺漏なきを期する覺悟なり而して數度の實驗に徴して當分償還借換の方法に依るを最も適當の方法と認むとの一段に存するは明かにして凡眼之を續過すれば何等の不思議を存せざるが如しと雖も仔細に之を注意せんか容易ならざる意味の抱含せられ居るは疑を容る可きに非らず即ち右の演説に依れば政府は來年度に於ても償還事業を續行する考なるの一段は明白なるも然も其時機及び方法に至りては經濟界の實況に應じ最も適當と認むる所に依るものなりと稱し又數度の實驗に徴して當分は償還借換の方法換言すれば政府は現實に償還資金を手にして先以て政府は五分利公債の償還を行ふ可し其償還を受くるを欲せざるものは四分利公債を受取るも可なりとの方法に由るものにして第三回の方法と同一なれば第一回及び第二回とは全然異りたる方法たるを知らざる可からず果して然らば政府は來年度に於ては只其償還資金を所有する範圍に於てのみ償還を行ふ可しと云ふものにして我輩は事實上に於ける借換の中止を公言したるものと認むるに躊躇せざる所以なり。蓋し政府が來年度に於て公債政策の爲めに利用し得る財源は豫定の償還金額たる五千萬圓及び第三回の借換及び其後の償還に際し四分利公債に乘替へたるものの有るよりして本年度中巴里に於て募集せる一億の公債中今尚ほ政府の手中に存する殘額七八千萬圓合計一億二三千萬圓に過ぎずして之を以て來年度に據置期限の經過す可き臨時事件費公債二億七千萬圓及び第三同並びに煙草專賣國庫債券六千三百萬圓合計三億三千三百萬圓の償還借換を果さんとするものにして右の公債中には預金部、帝室、日本銀行其他の特殊銀行地方團體等の所有に係り政府の意向に依りて如何樣にも成し得可きもの約一億圓ありとするも尚ほ殘餘一億萬圓に對しては民間の乘替希望あるに非らざれば政府は如何ともする能はざる次第にして此一億圓に對し政府は當分之に手を觸れざることに決心したるものなる可し即ち今春中に於ける政府の意氣込みとは非常の相異ある所以にして政府の公債政策に一大變調を呈するに至りたるは何人も之を認めざるを得ざる可きなり。

五

公債借替は一先づ休戰の姿を呈せり當分の間是れにて經濟界は平穩ならんと期

待せられたるに何處までも靜止的態度を執る能はざる現内閣は近頃に至り更らに東京馬關間の廣軌改築問題を提出したり然も之に要する數億の費用は近き將來に於て公債を募集して之に應せんとの事なりしかば又々財界を動亂紛糾せしめざるを得ざるなり。十月下旬手形交換所懇親會の演説に於て兎に角政府を信賴し先以て安心するに足ると爲したりし銀行業者四分利公債の所有者等は未だ旬日ならざるに政府は巨額の公債を募集せんとするの意ありと聞き殊に其鐵道公債は理に於て四分利以上のものならざる可からずと信じたるに依り殆んど顔色を失はざるを得ざりしなり、されば此報一度傳はるや彼等は四面に峰起して政府の不信を鳴らせり政府は忽ち之れに僻易して先づ其計畫を世間に發表せる國債局長を免官し愴惶として政府の他意なきを辯じ廣軌改築の計畫たる事實に相異あらざるも然もては十三年計畫にして其費用の如き一億圓は之を豫定の鐵道改良建設費に仰ぎ他の一億三千萬圓は之を十三年間に支出するの豫定にして然も當分の間は公債を募集せず一時借入金若くは大藏證券の發行に依りて之を支辨す可きことを强辯して又々一時の御茶を濁さんと努むるものゝ如し我輩は元來廣軌改築は雙手を擧げて贊成する所にして我國經濟上の發達と旅客の利便と兼て大陸との平時戰時に於ける連絡等の點より見て必ず全國の幹線を廣軌に改築せざる可からずと爲すものなり彼の鐵道國有の如きも實は廣軌改築の此一事を包含するが爲め尙ほ忍ぶ可しと爲したる次第にして思ふに政府に於てもては早くより其方針の決定し居りしてとならん而して廣軌改築と決定する以上は其財源は公債に依るの外なきは三尺の童子も雖之を疑ふものにあらざる可きに政府が强ひて一時世間を欺かんと努むるは何故ぞ、そは他なし四分利借換の亡靈に襲はるゝが爲めのみ、政府は强て四分利借換の冒險を敢てしたり、爲めに四分利公債の價格を維持せんが爲めには凡てを犧牲に供せざる可からざるに至れり、國民は四分利に甘んせず動もすれば市場に其賣物の横溢せんとする恐れあり、政府は極力之を防遏せざるを得ず、政府は鐵道の改築線路の增築、治水事業、港灣の改築、水陸交通の聯絡、朝鮮の開發其他に爲さんと欲する事業の數々を有す而して其財源は之を公債に求むるの最も容易なるに加かざるを知悉すと雖も如何せん四分利公債は甚だ不人望なり强て之を募らんと欲すれば四分利以上に逆進せざるを得

吏政府の體面信義に掛けて爲す能はざる所にして其結果は自縛自縛一切の事業計畫を悉く放棄して僅かに郵便貯金の增加額なる一條の逃途に遁走して一時を糊塗するあるのみ亦憫むに耐へざるにあらずや。

之を要するに現政府は決して消極的財政策に甘んずる人々に依りて組織せられたるものにあらず人一倍仕事を爲し以て兎も角も世間の喝采を博せんことを希ふの傾なり此政府が最初より非募債主義云々を標榜したるは確かに世間を欺き兼て自己を欺くものにして其結果は徒らに功名心に驅られたる無謀の借換計畫となり更らに今日の窮境に陷るに至りしものなれば世間或は政府の非募債主義を放棄したる其豹變を咎むるもの少なからずと雖も吾人は寧ろ現政府として は其常道に復したるものと認めざるを得ざるなり。

米國政界の變動

板倉卓造

一

毎年十一月第一月曜日に次ぐ火曜日は、米國にて各種の選擧の行はるゝ當日にして、此日を Election day と稱すること人の能く知る所なり。而して本年の當日卽ち去る十一月八日は、十二州を除く全國各州の知事(此十二州中ルイジヤナは本年五月、アーカンサス、メーン及びヴアモントは九月、ジョージヤは十月を以て知事の選擧を行ひたるが故に、本年は僅に七州を除く外全國に亘りて改選したるものなり)聯邦議會上院の三分の一、及び下院の總選擧を行ふものなるより本年のエレクシヨン、デーは、去る一九〇八年の大統領選擧の當時に劣らざる程に內外の人心を衝動せしめたり。否な大統領選擧の當時は、固より非常の黨爭を生じたりしも、デモクラツト黨は到底レパブリカン黨の敵に非ず、タフト氏の當選す可きこと何人も最初より豫期したる所なるを以て、其選擧の結果を見て、敢て驚くものなかりしに反し、